

令和8年度

大学院経営情報イノベーション研究科  
講義概要（博士前期課程）



静岡県立大学

UNIVERSITY OF SHIZUOKA

# 大学院経営情報イノベーション研究科（博士前期課程）

## 履修要項

履修案内	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
大学年間授業予定表	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 3
科目一覧（目次）	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 4
シラバス	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 8

# 大学院経営情報イノベーション研究科（博士前期課程） 履修案内

（令和 8 年度版）

## 1 修了の要件

(1) 次の①～③を満たして、計 30 単位以上を修得すること。

（令和 8 年度以降の入学生対象）

- ① 経営情報イノベーション特論・研究法特論・特別研究Ⅰ（1 年前期）・特別研究Ⅱ（1 年後期）・特別研究Ⅲ（2 年前期）・特別研究Ⅳ（2 年後期）の、必修科目 6 科目 計 12 単位（かつこ書きは、一般的な履修期間です）

② その他の科目 9 科目 計 18 単位以上

※①のうち経営情報イノベーション特論及び研究法特論、ならびに②は分野の区分及び学年による履修の制限はありません。

（令和 7 年度以前の入学生対象）

- ① 特別研究Ⅰ（1 年前期）・特別研究Ⅱ（1 年後期）・特別研究Ⅲ（2 年前期）・特別研究Ⅳ（2 年後期）の、必修科目 4 科目 計 8 単位（かつこ書きは、一般的な履修期間です）

② 指定単位科目 3 科目 計 6 単位（2 を参照）

③ その他の科目 8 科目 計 16 単位以上

※分野の区分及び学年による履修の制限はありません（①の必修科目を除く）

(2) 副論文審査の合格を経て、修士論文審査に合格すること（6・7 を参照）

## 2 指定単位科目（1 年時に指定）（令和 7 年度以前の入学生対象）

修了を認定するには、指定科目として、指導教員が指定した 3 科目を履修する必要があります。指定単位科目は、在学中にすべて修得してください。

指定科目は指導教員の承認を得たうえで、4 月の指定された期限までに、所定の書式により、ガイダンスで指定された方法で提出してください。なお、指導教員の科目は認められません。また、取得する学位により、以下の決まりがあります。

・修士（経営情報学）

3 科目のうち最低 1 科目は指導教員と異なる分野の科目を履修するとともに、経営分野もしくは情報分野の科目を 1 科目以上履修する必要があります。

・修士（学術）

3 科目のうち最低 1 科目は指導教員と異なる分野の科目を履修する必要があります。

## 3 単位互換科目

静岡大学大学院人文社会科学研究所が単位互換により提供する科目の単位を、8 単位を上限として、本研究科の修了の要件となる単位として算入できます。

（ただし、4 の「他研究科科目」とあわせて 10 単位を上限とします）

履修を希望する場合は、「単位互換授業科目履修願」を、指定された期限までに事務局学生室に提出してください。

#### 4 他研究科科目

研究を実施する上で有益と認められる場合は、本学大学院国際関係学研究科が開設する科目の単位を、10単位を上限として、本研究科の修了の要件となる単位として算入できます。(ただし、3の「単位互換科目」とあわせて10単位を上限とします)

履修を希望する場合は「他研究科授業科目履修願」にて、あらかじめ指導教員と当該授業科目の担当教員の承認を得てから、履修登録期間内に事務局学生室に提出してください。

#### 5 成績の評価

授業科目の成績は、優(100点~80点)、良(79点~70点)、可(69点~60点)及び不可(59点以下)の4段階に評価し、可以上を合格とします。

#### 6 修士論文(2年生対象)

(1)指導教員の承認を得た「修士論文企画書」を、指定された期限までに、ガイドランスで指定された方法で提出してください。

(2)言語は原則として日本語または英語を使用してください。

(3)用紙は、A4サイズで原則として横書きとします。枚数は自由です。

(4)提出にあたっては、次の論文要旨を添付してください。

①本文に日本語を使用する場合は、300ワード程度の英文要旨とA4サイズ1枚(800~1200字程度)の和文要旨の2種類

②本文に英語を使用する場合は2000字以上の和文要旨

(5)口述審査を主査(指導教員)1名、副査2名により、日本語で行います。

※提出日及び上記内容に変更があった場合は、別途掲示します。

#### 7 副論文(外国語試験科目に代替)(2年生対象)

修士論文の審査に先立ち、副論文として、研究科委員会による承認のうえ指導教員が選定する課題による成果物を、指定された期限までに、ガイドランスで指定された方法で提出してください。

※提出日及び上記内容に変更があった場合は、別途掲示します。

なお、この副論文審査に合格しなければ、6の修士論文を提出できません。

#### 8 その他

(1)学生便覧(特に「静岡県立大学大学院学則」)、大学HP掲載「静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科規程」もあわせて熟読してください。

(2)掲示(Web学生サービス支援システムによるもの、紙の掲示、学部・研究科ホームページの学内専用ニュース(Web掲示板)等)や配布物等を各自確認し、見落としのないように注意してください。

(3)入学前に単位を取得した場合、単位を認定するので、該当する方は学生室に申し出てください。

(4)上記内容に不明な点があれば、指導教員や教務委員等にお尋ねください。

# 令和8年度 静岡県立大学年間授業予定表

2026年4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			2027年1月			2月			3月					
日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事
1	水	学年・前期開始	1	金	金3	1	月	月7	1	水	水11	1	土	土16 補講可能日(1-3限)	火			1	木	木1	1	日		1	火	推薦・帰国生徒 入試※	1	金	元日	1	月	月14	1	月				
2	木		2	土	土4	2	火	火7	2	木	木11	2	日		2	水		2	金	金1	2	月	月5	2	水	水8	2	土		2	火	火15	2	火				
3	金	春期休業終了	3	日	憲法記念日	3	水	水7	3	金	金12	3	月	月16	3	木		3	土	土1	3	火	文化の日	3	木	木9	3	日		3	水	水15	3	水				
4	土		4	月	みどりの日	4	木	木7	4	土	土13	4	火	火16	4	金		4	日		4	水	火5【変則】	4	金	金9	4	月		4	木	木16	後期試験	木				
5	日		5	火	こどもの日	5	金	金8	5	日		5	水	水16	5	土		5	月	月1	5	木	木6	5	土	土9	5	火	冬期休業終了	5	金	金15	5	金				
6	月	ガイダンス	6	水	振替休日	6	土	土9	6	月	月12	6	木	木16	6	日		6	火	火1	6	金	金5	6	日		6	水	水11	6	土	土16	6	土				
7	火	ガイダンス	7	木	木3	7	日		7	火	火12	7	金	金16	7	月		7	水	水1	7	土	土5	7	月	月9	7	木	木12	7	日		7	日				
8	水	ガイダンス	8	金	金4	8	月	月8	8	水	水12	8	土		8	火		8	木	木2	8	日		8	火	火9	8	金	金12	8	月	月15	8	月	入試中期※			
9	木	入学式	9	土	土5	9	火	火8	9	木	木12	9	日		9	水		9	金	月2【変則】	9	月	月6	9	水	水9	9	土	土13	9	火	火16	9	火				
10	金	金1	10	日		10	水	水8	10	金	金13	10	月		10	木		10	土	土2	10	火	火6	10	木	木10	10	日		10	水	水16	10	水				
11	土	土1 新入生 歓迎行事	11	月	月4	11	木	木8	11	土	土14	11	火	山の日	11	金		11	日		11	水	水5	11	金	金10	11	月	成人の日	11	木	建国 記念の日	11	木				
12	日		12	火	火4	12	金	金9	12	日		12	水		12	土		12	月	スポーツの日	12	木	木7	12	土	土10	12	火	火12	12	金	金16	12	金	後期入試			
13	月	月1	13	水	水4	13	土	土10	13	月	月13	13	木	大学休業日	13	日		13	火	火2	13	金	金6	13	日		13	水	水12	13	土	補講可能日 (1-3限)	13	土				
14	火	火1	14	木	木4	14	日		14	火	火13	14	金	大学休業日	14	月		14	水	水2	14	土	土6	14	月	月10	14	木	木13	14	日		14	日				
15	水	水1	15	金	金5	15	月	月9	15	水	水13	15	土	夏期休業開始 大学休業日	15	火	夏期休業終了	15	木	木3	15	日		15	火	火10	15	金	試験準備 (休講)	15	月	月16	15	月				
16	木	木1	16	土	土6	16	火	火9	16	木	木13	16	日		16	水		16	金	金2	16	月	月7	16	水	水10	16	土	共通テスト※	16	火							
17	金	開学記念行事	17	日		17	水	水9	17	金	金14	17	月		17	木		17	土	土3	17	火	火7	17	木	木11	17	日	共通テスト※	17	水							
18	土	土2	18	月	月5	18	木	木9	18	土	土15	18	火		18	金		18	日		18	水	水6	18	金	金11	18	月	月12	18	木	学位記授与式						
19	日		19	火	火5	19	金	金10	19	日		19	水		19	土		19	月	月3	19	木	月8【変則】	19	土	土11	19	火	火13	19	金							
20	月	月2 開学記念日	20	水	水5	20	土	土11	20	月	海の日	20	木		20	日		20	火	火3	20	金	金7	20	日		20	水	水13	20	土							
21	火	火2	21	木	木5	21	日		21	火	火14	21	金	県民の日	21	月	敬老の日	21	水	水3	21	土	土7	21	月	月11	21	木	木14	21	日		21	日	春分の日 春期休業開始			
22	水	水2	22	金	金6	22	月	月10	22	水	水14	22	土		22	火	国民の休日	22	木	木4	22	日		22	火	火11	22	金	金13	22	月		22	月	振替休日			
23	木	木2	23	土	土7	23	火	火10	23	木	木14	23	日		23	水	秋分の日	23	金	金3	23	月	勤労感謝の日	23	水		23	土	土14	23	火	天皇誕生日	23	火				
24	金	金2	24	日		24	水	水10	24	月	月14【変則】	24	日		24	木		24	土	剣祭	24	火	火8	24	木		24	日		24	水		24	水				
25	土	土3	25	月	月6	25	木	木10	25	土	補講可能日 (1-3限)	25	火		25	金		25	日		25	水	水7	25	金		25	月	月13	25	木	入試前期※	25	木				
26	日		26	火	火6	26	金	金11	26	日		26	水		26	土		26	月	月4	26	木	木8	26	土	土12	26	火	火14	26	金							
27	月	月3	27	水	水6	27	土	土12	27	月	月15	27	木		27	日		27	火	火4	27	金	金8	27	日		27	水	水14	27	土		27	土				
28	火	火3	28	木	木6	28	日		28	火	火15	28	金		28	月		28	水	水4	28	土	土8	28	月	冬期休業開始	28	木	木15	28	日		28	日				
29	水	昭和の日	29	金	金7	29	月	月11	29	水	水15	29	土		29	火		29	木	木5	29	日		29	火		29	金	金14				29	月				
30	木	水3【変則】	30	土	土8	30	火	火11	30	木	木15	30	日		30	水	前期終了	30	金	金4	30	月	休講	30	水		30	土	土15 補講可能日 (1-3限)				30	火				
			31	日					31	金	金15	31	月					31	土	土4				31	木		31	日					31	水				
前期及び通年科目の履修登録(下旬まで)												後期科目の履修登録(中旬まで)																										

  は休業日  
赤字 は、主な行事、注意が必要な休講日、入構禁止日  
  は通常授業が行われない日  
青字 は、変則日程

**【注意事項】**  
 ・※印の日は入試のため大学構内への入構制限あり。一般学生は入構できません。  
 ・定期試験期間：各学期の16回目。ただし、科目により異なるため詳細は試験日程一覧表又は科目毎の指示に従ってください。  
 ・補講日：科目の開講状況により、各学期の補講可能日(1~3限)、または科目による個別の指定日に補講を行う可能性があります。

経営情報イノベーション研究科(博士前期課程) 経営情報イノベーション専攻(令和8年度以降入学生用)

開 講 授 業 科 目		教職教科
基礎基幹科目	経営情報イノベーション特論	
	研究法特論	
経営分野	イノベーション原理特論	
	マーケティング特論	商業
	アグリビジネス特論	商業
	経営組織論特論	商業
	ファミリービジネス特論	商業
	経営戦略特論	商業
	国際比較経営特論	商業
	管理会計特論	商業
	人的資源管理特論	商業
	流通イノベーション特論	商業
	消費者行動論特論	商業
	コーポレートファイナンス特論	商業
	ファイナンス特論	
	財務会計特論	商業
	公共政策分野	公共経営特論
都市政策特論		商業
医療介護イノベーション特論		
地方財政特論		
経済政策特論		
行動経済学特論		
ミクロ経済学特論		商業
行財政特論		
人口減少対策特論		
社会保障政策特論		
地域福祉マネジメント特論		
ヘルスケアサイエンス特論		
情報分野	知的情報イノベーション特論	情報
	データ工学特論	情報
	ソフトウェア工学特論	情報
	データサイエンス特論	情報
	経営情報数学特論	情報
	ナレッジ工学特論	情報
	情報技術特論	情報
	アルゴリズム特論	情報
	情報メディア工学特論	情報
	ITマネジメント特論	情報
	数理情報特論	情報
	計算機科学特論	情報
	情報教育特論	情報
	シミュレーション特論	情報
情報セキュリティ特論	情報	

経営情報イノベーション研究科(博士前期課程) 経営情報イノベーション専攻(令和8年度以降入学生用)

開 講 授 業 科 目		教職教科
観 光 分 野	総合観光特論	
	観光マネジメント特論	商業
	観光政策特論	
	観光情報分析特論	
	観光産業特論	
	地域観光特論	
	観光調査特論	
	観光まちづくり特論	
特 別 講 義	経営情報イノベーション特別講義Ⅰ	
	経営情報イノベーション特別講義Ⅱ	
	経営情報イノベーション特別講義Ⅲ	
	経営情報イノベーション特別講義Ⅳ	
	経営情報イノベーション特別講義Ⅴ	
特 別 研 究	特別研究Ⅰ	
	特別研究Ⅱ	
	特別研究Ⅲ	
	特別研究Ⅳ	

(備考)

各科目とも、すべて2単位です。

(単位互換科目)

静岡大学大学院人文社会科学研究科が単位互換により提供する科目の単位を、8単位を上限として、修了に必要な30単位に参入することができます。ただし、下記の「他研究科科目」とあわせて10単位を上限とします。

(他研究科科目)

研究を実施するうえで有益と認められる場合は、指導教員及び科目担当教員の許可を得て、本学大学院国際関係学研究科が開設する科目の単位を、10単位を上限として、修了に必要な30単位に参入することができます。ただし、上記の「単位互換科目」とあわせて10単位を上限とします。

(学部科目の履修)

学部科目の履修を希望する学生は、履修を希望する科目の初回講義前に学生室に相談してください。

学部科目を履修して取得した単位は、経営情報イノベーション研究科の修了要件には含まれないので注意してください。

(教職教科)

高等学校教諭専修免許状を取得しようとする者は、該当教科の授業科目において、24単位の最低修得単位数が必要です。

経営情報イノベーション研究科(博士前期課程) 経営情報イノベーション専攻(令和6～7年度以降入学生用)

開 講 授 業 科 目		教職教科
経 営 分 野	イノベーション原理特論	
	社会科学研究方法特論	
	マーケティング特論	商業
	アグリビジネス特論	
	経営組織論特論	商業
	ファミリービジネス特論	商業
	経営戦略特論	商業
	国際比較経営特論	商業
	国際経営特論	
	多国籍企業特論	
	新規事業創造特論	商業
	マネジメントコントロール特論	商業
	企業評価特論	
	ソーシャル・ビジネス特論	商業
	人的資源管理特論	商業
	流通イノベーション特論	
	行動科学研究法特論	
	消費者行動論特論	商業
	コーポレートファイナンス特論	商業
	法人税法特論	
財務会計特論	商業	
公 共 政 策 分 野	ソーシャル・イノベーション特論	
	サードセクター特論	
	都市政策特論	商業
	医療介護政策特論	
	医療介護イノベーション特論	
	地域マネジメント特論	
	地域イノベーション特論	
	経済政策特論	
	イノベーションの経済分析特論	
	ミクロ経済学特論	商業
	国際経済学特論	
	地方自治特論	
	保健医療システム特論	
	ソーシャル・インクルージョン特論	
	社会保障ネットワーク特論	
	財政・租税特論	
	地域福祉マネジメント特論	
	ヘルスケア情報処理特論	
	社会システム分析特論	
	現代金融特論	
情 報 分 野	知的情報イノベーション特論	情報
	データ工学特論	情報
	ソフトウェア工学特論	情報
	経営数学特論	
	経営情報数学特論	情報
	ナレッジ工学特論	情報
	情報技術特論	情報
	ネットワークコミュニケーション特論	情報
	情報メディア工学特論	情報
	ITマネジメント特論	情報
	数理情報特論	情報
	計算機科学特論	情報
	情報教育特論	情報
	ヒューマンコンピュータインタラクション特論	情報
	シミュレーション特論	情報
	計算機援用工学特論	
	情報セキュリティ特論	
	ITビジネス特論	情報

経営情報イノベーション研究科(博士前期課程) 経営情報イノベーション専攻(令和6～7年度以降入学生用)

開 講 授 業 科 目		教職教科
観 光 分 野	レベニューマネジメント特論	
	観光マネジメント特論	商業
	観光政策特論	
	観光情報分析特論	
	観光産業特論	
	地域観光特論	
	地方創生特論	
	観光調査特論	
	観光まちづくり特論	
特 別 講 義	経営情報イノベーション特別講義Ⅰ	
	経営情報イノベーション特別講義Ⅱ	
	経営情報イノベーション特別講義Ⅲ	
	経営情報イノベーション特別講義Ⅳ	
	経営情報イノベーション特別講義Ⅴ	
特 別 研 究	特別研究Ⅰ	
	特別研究Ⅱ	
	特別研究Ⅲ	
	特別研究Ⅳ	

(備考)

各科目とも、すべて2単位です。

(単位互換科目)

静岡大学大学院人文社会科学部研究科が単位互換により提供する科目の単位を、8単位を上限として、修了に必要な30単位に参入することができます。ただし、下記の「他研究科科目」とあわせて10単位を上限とします。

(他研究科科目)

研究を実施するうえで有益と認められる場合は、指導教員及び科目担当教員の許可を得て、本学大学院国際関係学研究科が開設する科目の単位を、10単位を上限として、修了に必要な30単位に参入することができます。ただし、上記の「単位互換科目」とあわせて10単位を上限とします。

(学部科目の履修)

学部科目の履修を希望する学生は、履修を希望する科目の**初回講義前**に学生室に相談してください。

学部科目を履修して取得した単位は、経営情報イノベーション研究科の修了要件には含まれないので注意してください。

(教職教科)

高等学校教諭専修免許状を取得しようとする者は、該当教科の授業科目において、24単位の最低修得単位数が必要です。

経営情報イノベーション研究科(博士前期課程) 経営情報イノベーション専攻(令和5年度以前入学生用)

	開 講 授 業 科 目	教職教科
経 営 分 野	イノベーション原理特論	
	社会科学研究方法特論	
	マーケティング特論	商業
	アグリビジネス特論	
	経営組織論特論	商業
	ファミリービジネス特論	商業
	経営史特論	商業
	経営戦略特論	商業
	国際比較経営特論	
	国際経営特論	
	多国籍企業特論	
	テクノロジーマネジメント特論	
	新規事業創造特論	商業
	マネジメントコントロール特論	商業
	企業評価特論	商業
	ソーシャル・ビジネス特論	
	人的資源管理特論	商業
	流通イノベーション特論	商業
	行動科学研究法特論	
	消費者行動論特論	商業
	コーポレートファイナンス特論	商業
法人税法特論		
財務会計特論	商業	
公 共 政 策 分 野	ソーシャル・イノベーション特論	
	サードセクター特論	
	都市政策特論	商業
	医療介護政策特論	
	医療介護イノベーション特論	
	地域マネジメント特論	
	地域イノベーション特論	
	経済政策特論	
	イノベーションの経済分析特論	
	ミクロ経済学特論	商業
	国際経済学特論	
	地方自治特論	
	保健医療システム特論	
	ソーシャル・インクルージョン特論	
	社会保障ネットワーク特論	
	財政・租税特論	
	地域福祉マネジメント特論	
ヘルスケア情報処理特論		
社会システム分析特論		
現代金融特論		
情 報 分 野	知的情報イノベーション特論	情報
	データ工学特論	情報
	ソフトウェア工学特論	情報
	経営数学特論	
	経営情報数学特論	情報
	ナレッジ工学特論	情報
	情報技術特論	情報
	ネットワークコミュニケーション特論	情報
	情報メディア工学特論	情報
	ITマネジメント特論	情報
	数理情報特論	情報
	計算機科学特論	情報
	情報教育特論	情報
	ヒューマンコンピュータインタラクション特論	情報
	シミュレーション特論	情報
	計算機援用工学特論	
	情報セキュリティ特論	
ITビジネス特論	情報	

経営情報イノベーション研究科(博士前期課程) 経営情報イノベーション専攻(令和5年度以前入学生用)

開 講 授 業 科 目		教職教科
観 光 分 野	レベニューマネジメント特論	
	観光マネジメント特論	
	観光政策特論	
	観光情報分析特論	
	観光産業特論	
	地域観光特論	
	地方創生特論	
	観光調査特論	
	観光まちづくり特論	
特 別 講 義	経営情報イノベーション特別講義Ⅰ	
	経営情報イノベーション特別講義Ⅱ	
	経営情報イノベーション特別講義Ⅲ	
	経営情報イノベーション特別講義Ⅳ	
	経営情報イノベーション特別講義Ⅴ	
特 別 研 究	特別研究Ⅰ	
	特別研究Ⅱ	
	特別研究Ⅲ	
	特別研究Ⅳ	

(備考)

各科目とも、すべて2単位です。

(単位互換科目)

静岡大学大学院人文社会科学研究科が単位互換により提供する科目の単位を、8単位を上限として、修了に必要な30単位に参入することができます。ただし、下記の「他研究科科目」とあわせて10単位を上限とします。

(他研究科科目)

研究を実施するうえで有益と認められる場合は、指導教員及び科目担当教員の許可を得て、本学大学院国際関係学研究科が開設する科目の単位を、10単位を上限として、修了に必要な30単位に参入することができます。ただし、上記の「単位互換科目」とあわせて10単位を上限とします。

(学部科目の履修)

学部科目の履修を希望する学生は、履修を希望する科目の初回講義前に学生室に相談してください。

学部科目を履修して取得した単位は、経営情報イノベーション研究科の修了要件には含まれないので注意してください。

(教職教科)

高等学校教諭専修免許状を取得しようとする者は、該当教科の授業科目において、24単位の最低修得単位数が必要です。